

問 介護保険制度の大幅変更への対策

答 各地域に合った「集う場」が必要



光風会 江田 五六 議員

問 各地域の要望による地域に合った遊歩道等の環境整備(例)

問 来年度以降、介護保険制度が大幅に変更される(一部の方は3割負担など)。これによって福祉サービスの大幅低下が予想される。従って健康寿命延伸の対策が緊急課題である。そのためには、運動や趣味を仲間と共に住み慣れた地域で楽しめる環境づくりが必要。また、高齢者の健康寿命延伸や介護予防に関わる事業へのコミセン・アイヴィルなど公共施設の使い方の改善が求められる。



答 地域にあった公共施設の使い方を考えていく。

問 石神地区の前谷溜池から石神城跡まで環境整備、また、集会所のような集う場所の確保及び集会所周辺の環境作りが必要である。

答 石神城跡の整備に合わせ検討する。各地域の要望に応じ、集会所のような集う場所の確保及び環境作りを支援する。

問 高齢者健康増進とスポーツ少年団のために、久慈川河川敷にミニゴルフ場を作っては、

答 新しい提案なので研究する。

問 街路樹の管理について

答 約1900本を4年サイクルで



新政とうかい 鈴木 昇 議員

問 太田団地・寮の今後について

答 村が活用する予定はない

問 街路樹が交通の障害となっているが、村内には何本あり、どのように管理しているか。

答 道路緑化については道路の景観や沿道の生活環境の保全を図るとともに道路交通の快適性、安全性確保、自然環境の保全等を目的として、機能が総合的に発揮されるよう約1900本を基本4年のサイクルで剪定している。

問 道路管理上、毎年剪定すべきと考えるが、

答 基本は4年サイクルで管理を行う。しながら樹種や場所によっては成長が早いものがあり歩行、通行に支障が生じる樹木は、適宜剪定を行っていくので理解してほしい。



街路樹の管理を

問 国の整理合理化計画を受け平成26年度までに閉鎖し売却等に着手、太田寮についても平成29年に廃止すると聞か、今後の土地利用計画は。

答 村が活用する予定はない。しかし、地域住民の関心が高い土地であり、処分にあたっては地域によく説明するよう申し入れる。